

# みらい科 校内研究学習指導案

2年

単元名  
「GO! GO!  
にしおちあいススメたい」

日時 令和5年10月27日(金)5校時  
場所 第二算数室、2年1組・2組 教室  
授業者 2年1組  
2年2組

## 1 単元の目標

- 学校や自分たちが住む家の周りには様々な公共施設や商業施設などがあり、友達とそれらの場所を確認したり、考えを交流させたりしながら、適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を比較・分類したりしてまとめ、地域のよさを見付け、周囲の人に伝える。
- 一回目の探索では見付けられなかった、学校周辺地域の新たな発見やより詳細な調査を通して、地域の魅力を学んで課題を見付け、自分たちでできることを考える。
- 地域の店舗や施設を訪ね、コミュニケーションを通して地域の魅力や課題を発見し、地域への関心・愛着や地域の一員としての自覚を高める。

## 2 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①友達の良いところを見付けたり、異なる意見を受け入れることの大切さを理解している。 ②地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活が地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の思いに気付いている。	①身近な人と関わり合いながら、調べたり観察したりしたことに基づいて、事柄の順序に沿って簡単な発表の構成を考えたり、自分の考えを選び取ったりすることができる。 ②話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。	①地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に関わろうとしている。 ②身の回りの事柄に目を向け、全体で取り組む課題を知り、教師と一緒に見通しをもちながら活動しようとしている。

## 3 単元について

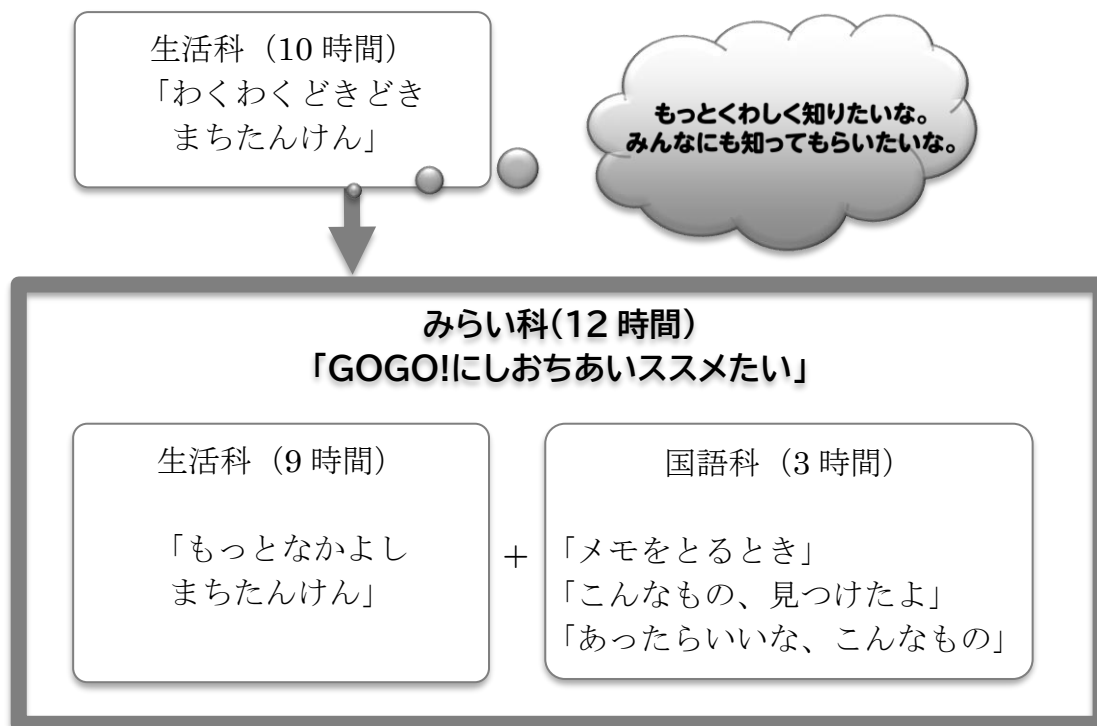
### 【教材について】

この教材は生活科「どきどき わくわく まちたんけん」で学習したことを受けて設定する単元である。

「どきどき わくわく まちたんけん」では、学年全体で地域を巡り、どのような施設や店舗があるかなどを確認した。本単元では、もっと知りたくなった場所や他に知りたくなった場所について、更に詳しく調べる活動を中心とする。インタビューなどの地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けると共に、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付かせることができると考えた。地域についてより深く知る活動を重ねて、地域の人々に親しみや愛着をもち、できることや実現したい願いをもつことで、自分たちが住む地域の一員としての自覚と、地域に貢献しようとする意欲も高めた。

国語科の学習とコンバインすることで、地域の人々の言葉を受け止めたり質問したり、その回答についてまとめたりする活動を通して、体験や思いを文章化し、人に伝える表現方法などをより実践的に学ぶことができると考えた。

## 単元構想図



### 【児童について】

2学年の児童は昨年度、学校探検や学校生活を通して校内の様子を知ったり、他学年の児童と関わったりする中で、自分たちが学校で様々な年齢の人と関わりながら生活していることを学んでいる。年度末には未就学児を招いて学校を案内し、学校内だけではなく、地域にもつながりがあることを認識できた。しかし、2年生ということもあり、地域の行事の開催に関わったり、ボランティア等で貢献したりするような経験のある児童は少ない。今回の学習で地域に関わることのよさを感じさせたい。

学年内ではグループでの活動に積極的に取り組み、協力して活動している一方で、意見を出し合ってグループ内で意見をまとめるなどの協働的に学習を進めていくことが苦手な児童も多く見られる。そのため、グループでの活動に慣れて意見を活発に出し合えるように、グループで一匹のザリガニを飼育する活動や、自分たちで決めた学区探検の報告書をまとめたり、それを発表し合ったりする活動などを取り入れている。

### 【指導について】

児童は地域にどんな施設があるかは、ある程度知っており、その用途やサービスについても把握していることが多いようである。しかしそのサービスの裏側で、施設の人々がどのような思いや願いをもって仕事に取り組んでいるのか、どのような準備をしているのか、また、それらの施設や店がこの地域にある理由や、町の人が住んでいる理由などを知らないことが多い。今回の学習では、自分の住む地域にある施設について詳しく知り、正しく利用出来るようにするとともに、地域そのもののよさや、人々の思いなどに気付き、親しみや愛着をもってより身近に感じてもらうことを目的としている。

インタビューの内容は児童が考えるが、その中に「どうしてここで経営しているのか。」「いつからあるのか。」など、この地域に関係する質問を織り交ぜるように指導する。施設や店舗がこの地域を選んだ理由を知ることで、「大人や経営者の視点から見た西落合」という、今まで気付かなかった地域のよさに気付くことができ、多角的な視点を得ることを期待する。

様々な視点で自分の住む地域を見ることができた後は、児童の「もっとオススメしたい」という思い

を引き出し、児童同士で意見を交換する活動を行う。国語科「あったらいいな、こんなもの」をベースに、施設や店舗で「こんなサービス(設備/メニュー)があったらいいな。」「どういう方法があるか。」などについて意見を出し合う。「こんな施設があったら便利ではないか。」「このサービスをこのようにしたらもっと利用しやすくなるのではないか。」などの「あったらいいな」を考え、更にそれらが地域の人々にも役に立つものであるように設計する。施設の紹介ポイントを「わたしたちのいちおし」として班でまとめ、「あったらいいな」を含めて地域へ発信できるようにする。これらの活動を通して地域の一員としての自覚を養い、地域に愛着をもち、より良い地域社会を目指す態度を養うとともに、周りの多様な人々の見方や考え方を取り入れたり想像したりできる力を育みたい。

#### 4 研究主題との関連

##### 目指す児童像 「自ら考え、判断し、行動できる児童」

###### ① 自ら活動に取り組むことができる児童にするために

###### 一人ひとりの興味・関心に応じた施設への取材と国語科での学びの活用

生活科「わくわくどきどきまちたんけん」の一回目の探検中に見付けた施設について、「よく利用するからみんなにも知って欲しい」「この施設(店舗)は何が一番のオススメ?」「どんな風に仕事をしているの?」などと、児童は様々な思いをもっていた。そこで、児童一人ひとりの興味・関心に応じた施設への取材を試みる。児童の「オススメしたい」という思いに丁寧に寄り添うことで、主体的に活動に取り組む態度を育成することができると考えた。また取材の仕方や、見聞きした情報を整理する方法をおさえることで、調べ学習の基礎的な力を養うことをねらいとしている。単元で話し合う議題も、2学年の児童にも自分事としてとらえやすい内容とし、自ら活動に取り組めるようにしている。

一回目の探検と平行して、国語科「メモをとるとき」「こんなもの、見つけたよ」の単元で、探検中に見付けたものについての特徴などを書き留めること、見付けたものの報告の仕方について学んだ。探検二回目となる本単元では、情報収集の仕方やまとめ方、言語活動を通じて発表の仕方などを振り返り、自分たちが知りたかったこと、聞きたかったことを明確にして、回答を得る活動を通して、より広い視野で町全体をみてオススメする内容の報告書を作成できると考えた。この活動の中に国語科の学びを随時取り入れることで、段階を経て表現力を養うことをねらいとした。

###### ② 自分で考え、判断することができる児童にするために

###### 多様な立場の人と関わり

本単元では、自分たち、地域の施設の方、保護者、行政の方など、様々な立場の方の思いに触れる機会を設定する。これは、立場によってさまざまな考えがあるということに気が付くとともに、共通点や相違点を意識しながら、考えを深めることができると考えたからである。また、「あったらいいな、こんなもの」の学習をいかした話し合い活動を取り入れることで、友達の多様な考えに触れ、自分の意見をより深めることができると考える。

###### ③ 協働的に行動(表現)することができる児童にするために

###### グループで深く考えることができるようになるための明確なゴールの提示と、児童自身が選んだ、調べたいものによるグルーピング

本単元はその性質上、明確な正解等がない学習となる。地域の人へのインタビューや実際に見て回って得た経験から、自分たちがオススメする施設や店舗への希望を考える。児童はおそらく今回の学習で初めて自分の町をよく研究し、どんな町にしたいか考えることだろう。

本単元では児童自らが「知りたい」と考えて選んだ施設や店舗ごとに学年全体でグルーピングする。クラスにとらわれずにグルーピングすることで、普段の授業では交流する機会の少ない児童の考えや気

付きに触れることができ、それにより自分の考えを深めることができると考えた。

「わたしたちのいちおし」の中の願いが自分たちだけの独りよがりな希望ではなく、町に住む人たちのためのものにするために、話し合いを重ね、色々な立場の人々の意見を聞くなどして、個々の施設や店舗をより魅力的なものにすることで、西落合地区全体を「オススメしたい町」として紹介できるようにする。「わたしたちのいちおし」については、児童自身の言葉で説明できるよう、しっかり考えさせたい。

5 学習指導計画（全12時間：本時10/12）

<p><b>国語</b> A メモをとるとき (1/3) B こんなもの、見つけたよ(1/10) C あっという間に、こんなもの(1/8)</p>	<p>生活 もっとなかよし まちたんけん(9/12)</p>	<p><b>みらい</b> GO!GO! にしおちあいススメたい (全12時間)</p>
<p>A②教科書の例をもとに、メモの書き方や工夫について確かめる。</p>	<p>①探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどについて話し合い、探検先ごとのグループをつくる。</p> <p>②グループごとに探検場所や聞きたいこと、コースや持ち物など、探検の計画を立て、計画表に記入する。</p>	<p>① 1学期に行った探検を振り返り、紹介したい場所の中でも、もっと知りたい、もっとよくしたい場所や話を聞いてみたい人、聞きたいことなどについて話し合い、探検先ごとのグループをつくる。 【知①思②】</p> <p>② 例文をもとに、メモの書き方や工夫について確かめる。 【思①】</p> <p>③ グループごとに探検場所や聞きたいこと、コースや持ち物などの探検の計画を立て、計画表を作る。 【思②主②】</p>
<p>B⑥メモをもとに組み立てを考えて紹介文を書く。</p>	<p>③④探検に行く。</p> <p>⑤探検を振り返り、気付いたことをカードに書く。</p>	<p>④⑤調べたい場所・人・ものについて、班で協力して、地域の人にインタビューしたり家の人に聞いたりして調べる。 【思②主①】</p>

		<p>⑥⑦探検して気付いたこと、新しい発見や疑問などをグループでまとめる。「初め」「中」「終わり」の構成を理解し、メモをもとに発表を組み立てて書く。 【知②思①】</p>
	<p>⑥⑦探検で見つけたことをグループごとに整理する。</p>	<p>⑧⑨紹介したい/自慢したい場所や人・ものについて、「こんな風が変わって欲しい」「こうなったらいいのに」などのオススメしたい場所の「あったらいいな」を含めて、グループごとに発表形式にまとめる。 【知①思②】</p>
<p>C⑦ グループで発表会を開く。 ・丁寧な言い方を知り、発表や質問で用いる。 ・メモを参考に発表し合い、感想を伝え合う。</p>	<p>⑧⑨探検で見つけたことをグループごとに紹介し合う。</p>	<p>⑩ 発表の練習をして、まちの良さや「いちおし」が伝わるよう、発表内容を見直す。 【知①思①】 <b>本時</b></p> <p>⑪ グループごとにまとめたものを発表し、それぞれがおすすめしたいまちの良さを伝え合う。 【知①思②】</p> <p>⑫ 活動を振り返り、分かったことや学んだこと等を発表し伝え合う。 【知①主①】</p>

※国語科/生活科の時間は関連するもののみ記載した。

## 6 本時の指導計画（10／12時間）

### （1）本時の目標

「わたしたちのいちおし」の練習をして発表の内容や方法を見直す。

### （2）評価規準

【知①】友達の良いところを見付けたり、異なる意見を受け入れたりすることの大切さを理解する。

【思①】身近な人と関わり合いながら調べたり観察したりしたことに基づいて、事柄の順序に沿って簡単な発表の構成を考えたり、自分の考えを選び取ったりすることができる。

### （3）展開

	○主な学習活動 C 予想される児童の反応	・指導、支援 ◇評価（観点・方法）
導入	○前時までを振り返る。 ○本時のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに選んだ発表形式を確認し、本時の学習へとつなげる。</li> <li>探検に行った場所を記した地域の地図、本時の学習の流れ、発表用のチェックポイントリスト、本時の活動場所を掲示する。</li> </ul>
	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【めあて】 「わたしたちのいちおし」のはっぴょうをさらによくしよう。</p> </div> <p>○学習の流れを知る。</p> <p>○どのような発表にすればまちのよさや「いちおし」が伝わるか、気を付けることを確認する。</p> <p>C：声の大きさや速さに気を付けて話す。 C：相手の目を見て話す。 C：お店の人の言葉を言う。 C：お店の人のオススメを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の流れを説明する。 (リハーサルタイム、なおしタイム、そうだんタイム)</li> <li>リハーサルタイムでお互いにフィードバックする方法を説明する。</li> <li>なおしタイムで、グループ内で発表内容や方法をさらに工夫することを伝える。</li> <li>フィードバックのポイントや直す箇所については、伝えたい「まちのよさ」や「いちおし」が説明できているかをチェックすることを伝える。</li> <li>そうだんタイムで他学年の先生方に発表を聞いてもらい、助言を貰うことを伝える。</li> <li>チェックポイントリストを活用することを伝える。</li> </ul>

<p>展 開</p>	<p>【たんけんたいグループ】        (活動場所 1 組)        ・がってん寿司        ・31アイスクリーム        ・ゴミ屋敷解決        ・ホビーセンターカトー        ・マクドナルド        ・グローバルキッズ西落合園        (活動場所 2 組)        ・サイゼリヤ        ・吉角家        ・牛の介        ・やはたみずのとう幼稚園        ・西落合学童クラブ        ・スポーツセンター        ・ライフ</p> <p>○他のグループの発表を見学し、お互いに        フィードバックする。        C：〇〇さんの声が聞きやすかったね。        C：あの発表資料はどうやって作ったんだろ        う。まねしたいな。</p> <p>○グループで発表の内容や方法を見直す。        C：発表のページを増やそう。        C：もっと写真を増やしたいな。        C：発表する順番を変えた方がいいかな。</p>	<p>・付箋 2 色、付箋を貼っておく紙 (A3) を用意        する。        ◇友達の良いところを見付けたり、異なる意見を        受け入れたりすることの大切さを理解してい        る。【知①】(行動観察・発言)</p> <p>・模造紙、ペン、撮影した写真の印刷物など発表        用の素材を用意する。        ◇身近な人と関わり合いながら調べたり観察し        たりしたことに基づいて、事柄の順序に沿って        簡単な発表の構成を考えたり、自分の考えを選        び取ったりすることができる。        【思①】(行動観察・発言・発表資料)</p>
<p>ま と め</p>	<p>○次時で発表会をすることを知る。</p>	<p>・次時までには発表内容を確認して、発表に必要な        ものなどを準備しておく。</p>



**補助資料**

**教科の観点別評価規準**

知識・技能

<p>生活 もっと なかよし まちたんけん</p>	<p>国語 A メモをとるとき B こんなもの、見つけたよ C あったらいいな、こんなもの</p>	<p>みらい</p>
<p>・地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。</p>	<p>A 粘り強く話を集中して聞いて内容を捉え、学習課題に沿って質問や感想を述べようとしている。 B 句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。 C 丁寧な言葉と普段の言葉との違いに気を付けて使うことができる。</p>	<p>・友達の良いところを見つけたり、異なる意見を受け入れたりすることの大切さを理解し、協力して学びを進めている。</p>

思考・判断・表現

<p>生活 もっと なかよし まちたんけん</p>	<p>国語 A メモをとるとき B こんなもの、見つけたよ C あったらいいな、こんなもの</p>	<p>みらい</p>
<p>・地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けている。</p>	<p>A 必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。 B 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 C 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。</p>	<p>・友達と関わり合いながら調べたり、観察したりしたことに基づいて自分の考えを選びとることができる。</p>

主体的に学習に取り組む態度

<p>生活 もっと なかよし まちたんけん</p>	<p>国語 A メモをとるとき B こんなもの、見つけたよ C あったらいいな、こんなもの</p>	<p>みらい</p>
<p>・地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。</p>	<p>A 粘り強く必要な事柄を集め、今までの学習をいかして知らせたいことをメモに取ろうとしている。 B 事柄の順序に沿った構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって、組み立てを考えて文章にまとめようとしている。 C 粘り強く話を集中して聞いて内容を捉え、学習課題に沿って質問や感想を述べようとしている。</p>	<p>・身の回りの事柄に目を向け、全体で取り組む課題を知り、教師と一緒に活動の見通しをもちながら活動することができる。 ・自分と地域社会とのつながりに気付き、地域の良さを積極的に見つけようとしている。</p>

